

発行 岡崎市中学校協会
 視覚教育管理印刷社
 印刷 研文印刷
 電話 22-1235

岡崎市視聴覚ライブラリーの 公立化をめぐる

学校視聴覚ライブラリーの現状と将来

阿部 俊 房



視聴覚ライブラリーの公立化ということ
 文部省が大きく取り上げるようになったのは
 つい三三年前からである。これは、学校教
 育や社会教育において、視聴覚教育のはたし
 ている役割がようやく認められたことで、大
 変よろこばしい傾向である。当岡崎市におい

ても、従来の学校視聴覚ライブラリーと社会教育のそれとを一体にした岡崎市視聴覚ライブラリー(仮称)の設置がすめられていくようである。このことは長年にわたって私達の念願してきたことであって、つまり公費による視聴覚ライブラリーの設置・運営・管理という理想が今ようやく実現しようとしているのである。この機会に岡崎市小中学校視聴覚ライブラリーの現状をみつめ将来の姿をえがいてみたい。

一 学校視聴覚ライブラリーの現状
 昨年度市立図書館が竣工して開館すると同時に、梅園小学校にあった学校視聴覚ライブラリーはその一室にうつった。この平凡な事実も学校視聴覚ライブラリーにとっては画期的なことであった。昭和二十九年結成された市川中学校内に学校視聴覚ライブラリーを、それ以来十数年間、関係者達の深い願いは次の三点であった。

- 1 父母の負担を排し公費負担による。
 - 2 学校をはなれ、視聴覚ライブラリーの独立を実現する。
 - 3 視聴覚ライブラリー・アンの給与の公費負担
- 先の学校視聴覚ライブラリーの移転及び公費負担の実施によって二つの目標は達成できた。

これは視聴覚教育の位置づけが確かなものとなり、学校視聴覚ライブラリーの機能がようやく公的に認められた結果である。テンポはゆるく内に多くの問題をもちながらも、学習指導上与えた影響は大きいと考えられる。三視聴覚ライブラリーの公立化の意義

先にのべた文部省の方針に沿って、岡崎市の視聴覚ライブラリーの公立化が一そう促進されている。つまり条例によって視聴覚ライブラリー設置のよりどころを明確にし、公費の財源を確保し、それによって維持管理されるのである。昭和四十八年度において、岡崎市が視聴覚ライブラリーの公立化を決定された。視聴覚ライブラリーを一層整備拡充し、学校教育、社会教育の進展を図られつつあることは、深く共感し感謝したい。公立化の達成によって視聴覚ライブラリー・アン。給与の公費化もできるであろう。これによって長年の目標はほぼ叶えられたと言えるのである。

- 1 利用を促進し、活気のある視聴覚ライブラリーとする運営
 - 2 利用者を中心に構成した運営委員会を設置し、視聴覚ライブラリーの運営にそのことを反映する。
 - 3 他の教育研究団体と協力体制を組み、視聴覚ライブラリーの活用をひろげ、深める。
- おわりに、視聴覚ライブラリーが岡崎市教育の中心機関に発展することを願うものである。

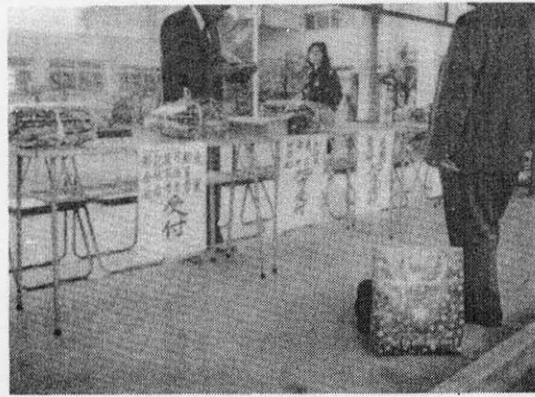
(ライブラリー事務局次長)



放送教育研究会全国大会に

参加して

十月二十八日、二十九日に広島市で行なわれた、第二十三回放送教育全国大会に出席させていたゞき、有意義な二日間を過ごした。以下、簡単にレポートします。



教育近代化展におもう

昭和四十七年度、視聴覚教育合同全国大会の一事業として催された「教育の近代化展」をみて教育機器のめざましい発展に驚嘆し、将来の教育の姿を改めて見直さずにはおられなかつた。館内には投影、光学、音響などの教育機器が網羅され、光と音が交差してエレクトロニクスの華が咲き誇っているようだった。その中で特に心をひかれたのは一人一人

11月15・16・17

場所(東京都)

10月28・29日

場所(広島市)

岡崎を発つたのが一〇時三〇分頃、名古屋発夜行寝台、金星にのる。広島のホテルにたつたのは、夜もあけやらぬ五時五十一分！駅の食堂で朝食をとり、分科会の行なわれる広島大付属東雲中へむかう。中学校では、音楽、家庭科の二教科の授業を、ふんざさみで、隣接の東雲小の施設も参観する。さすが、会場校だけに、各教室、カメラテレビを入れ、中学校ではスタジオで主番組の製作もしていた。又、小学校では授業に、テレビカメラを持ち込み利用していた。午後は少しはなれたところにある、広島女学院中学校へ行き、分科会「理科第一分野」へ出席した。広島県内のある離れ島？の先生の熱心な発表を聞きながら、いよいよ、日本中で、教育テレビの利用がなされているなと感心した。

放送教育

視聴覚教育

大会参加報告

の能力を開発するシステムであった。機器の前にすわってボタンを押すと、あたかも二十年後の学習室にいる錯覚におちいった。二十年後の算数教室、児童数十五名。児童は個別学習機にすわり、個別学習機器と取り組み、各自の学習プログラムにしたがって学習を進めている。学習内容のカセットを準備し、キーを押すと画面に学習過程がつきつきと現われ、それにしたがって学習者はワークブックに記入したり、実験材料で確かめたりして次のステップに移っている。機器を操作する音だけが、いやに教室にひびく。学年の枠ははずされ八才児十才児などが混っている。分数の学習をしている子がいれば、集合の勉強をしている子もいる。教師は机間巡視をし

第二日目、午前中は原爆ドームの見える、広島球場の裏手にある、青少年センターで種別全体会、中学校部会に参加した。広島市内の先生による「生徒の視聴の実態を明らかにし、視聴能力の育て方を究明しよう」という長いテーマで、スライド二台を使った、提案、発表を聞き、その研究の姿勢に頭を下げた。午後の部は公会堂で、第一部から第三部にわかれ、全体会が行なわれた。とくに「豊かな人間性」に映像面から迫る、東大教授、東洋先生、広大教授、蛭谷先生、映画監督、羽仁進氏他等のディスカッションには感激をして、そのあと、平和記念館内の放送教育機器展をみて「かね」があつたら？と思ひ、帰路についた。

個別にアドバイスをしている。学習は完全に個別化されシステム化されている。然も児童は自発的であり、合理的な学習に真剣である。機器と児童の間には全く人間性がなく孤立的である。然し、たん、放課になると児童は実に陽気になり、体育、音楽、図工科などの学習は見違えるように人間性豊かな活動をする。科学性と人間性のバランスがほどよく融合して教育が進められている。確かに教育機はオールマイティではない。然し、近い将来、いや応なしに、これら機器が導入され学習環境は一変する。われわれ教師は改めて学習に対する発想の転換を考へる必要があると思う。

矢作南小 鶴居 宗一

優良映画鑑賞

感想文

巡回映画を見て

浅田 潤一

二ヶ月ほど前、学校へ巡回映画がやってきた。最近ではテレビばかり見ているので、映画は久しぶりだった。ぼくは朝から映画をとっても楽しみにしていたが、いよいよ始まると、機械のピントが合わないのか、あまりはつきりしないので、何だかがつかりしてしまった。それでもぼくは一生けん命見た。

映画は、小手島という小さな島の中学校でバレエ部の生徒たちが、毎日、しんげんに練習にはげみ、先生の注意をしつかり守っているようだった。ぼくは、このような熱心さにとても心をうたれた。また、選手の一人在家でおとうさんに強く反対され、しかられても、くじけないでがんばったのは、大変えらいなと思った。これは、バレエが好きでたまらなかつたのだからか。それとも、やらなければならぬから出来たのか、どちらだろうか。ぼくは、運動クラブに入つたことがないのでよくわからないが、あんなにきびしい練習の中で、悲しがつたりしないだろうか、ぼくは不思議な気がした。

しかし、最後に町へ出て、対こう試合を行なった。決勝戦で何度も同点をくり返しながら、力の限り戦って勝つた時、生徒たちはだきあってなきながら喜んでた。このようすを見た時、ぼくは、どんなに苦しかった練習も、試合に勝てば、ふつとんでしまうものだなという感じが、はじめてわかつた。

目的に向かつて立派に生きている。めぐまれた町に住むぼくたちは、もつとがんばらなくちゃあと思った。そして何でも最後までつらぬく人間になれたら、どんなにすばらしいだろう。この映画を見てぼくはとてもいい勉強になった。

「なつかしき笛や太鼓」を見て

城北中学校 二年 佐藤 祐美

瀬戸内海の島々の中で、いちばん小さい小手島。みんな背をむけてしまつてなにもかもおくれたいた。その中に自ら進んで入つていった家田先生。いくら友達のためとはいへ、自分の身を犠牲にしてまでもと思った。しかし、それだけでなく、この人の心のうちもこの島をなんとかしなければ、と思つていたことではない。そして家田先生はそのとおり、がんでわからずやの島の人等の心を、まっすぐのばし直してしまつた。

昭和二十九年。家田先生がこの島へ渡つた年。戦死させてしまつた友達の子供、健一、の面倒、そしてまた教師としてがんばらうと、決意を固めて来た先生。しかし島の大人達のばくちなどふしだらな、ひどい生活。その中で育つている子供がかわいそう。近島の運動会で小手島の学校の子達が、なにかやつてもピリア他の島のいい笑いの。そこで家田先生はバレエでなんとか、と考へた。そして先生の根気よさで、小手島チームは男女混合のへつぼこチームから、次第に実力をつけていき、ついに中学校バレエボール大会で意志と闘志で、輝かしい栄光をつかみとつた。

文明からはじき出されてしまつた小手島。その中に捨て身で飛びこんでいき、長い間、忍耐をもつて尽くし、とうとうすばらしい小手島にしてしまつた家田先生。人間の心の尊さというものをつくづく考えさせられた。また、私たちは、こんなに設備のととのつた

体育館、運動場などがあるのだから、小手島のへつぼこチームになんか負けてはいられない。島の子供達に笑われないうちに、いつもくいのないようになんばりたい。

「なつかしき笛や太鼓」を見て

六北小 三年 中野千賀子

わたしは、この映画を見ていろいろなことを、思つたり、感じたりしました。

なにごとでもがんばつてやるぞという心をもてば、なんだってできるんだと思ひました。小手島中学校の先生だってそういう心を持っている人だなど感じました。

船に乗つて、しあいにいつた時は、なんだかわたしもバレエを、やつてみたくなりました。はじめのうち、負けていたので、いつしよリードしてきたので、自分がバレエを、しているように口ぐち、

「やるぞ。やるぞ。」といつてしまひました。小手島中学校の子が、とちゅうに、くつやわらぞうりを、ぬいだ時はよほどやるきが、わいてきたのかと、思ひました。

いくらきれいなみなりを、していてもがんばるといふ心、持つていなきやだめだなあと思ひました。

とうとう、かつた。それは、みんなの力みんなが、がんばるぞという心を持つていだと思ひます。

みんなが、がんばるぞという心を持つていなかつたら、みんな負けていたと思ひます。小手島中学校が勝つた時は、よかつた、自分が勝つたよにうれしい気持ちでした。

そのうれしさは、なきたかたぐらひでした。ぼんとうに、よかつたですね。」「小手島中学校ばんざい。ばんざい。」と心の中で、いわつてしまひました。大きな、ゆうしようきをもらつて、船で帰

教材映画案内

っていった時は、わたしも一度でいいから、ゆうしようして、ゆうしようきを持ってみたいなど思いました。

小手島中学校のみなさん、先生。
これからも、みんな力を合せてがんばってください。わたしも、勉強をがんばります。ほんとうによかったですね。

小学校社会

二年

○ゆうびん (一月) 二十分

都市の児童と山村の児童との愛情が、郵便によって結びつき、深められてゆく中で、郵便の機能を理解させる。

ほかに

* おまわりさん (二月)

* 消防署の仕事

* 火事をなくする仕組み

* ゆだん大適 (三月)

四年

○東海道の今と昔 (一月) 二十二分

江戸と京都をつないだ街道も今では日本の産業、経済、文化の発展をあずかる大動脈になっっている事を描いている。

ほかに

* 愛知用水

* 鉄道の発達と町の移り変わり

* 宿場町・昔の旅

* 鉄道の移り変わり。 (二月)

五年

○日本の四大工業地帯 (一月) 二十分

工業地帯が発達するための条件と、四大工業地帯の特色を知る。ほかに

* 日本の近代工業 (三月)

六年

○草原の国モンゴル (一月) 十七分

モンゴルは一九二一年の社会改革以後四十年を経た今日、草原に近代的な牧畜、加工、農業を中心にしていようすを生活と共に知らせる。ほかに

* アルゼンチン (二月)

小学校理科

三年

○植物の冬ごし (二月) 十六分

植物の冬ごしのようすを知り、いろいろな姿で寒い冬を越そうとし、枯れたり、死んだりすることなく、冬でも生きていることをつかみ取らせる。

○磁石 (三月) 十四分

磁石の原理を理解し、その働きや応用などについて知らせる。

五年

○星の動き (二月) 十六分

星の運動観察の実験を示し、北天、南天の星の運動をわかりやすく説明しながら、地球の自転運動と結びつけ、理解させる。

○風のおこるわけ (三月) 十四分

大気中の気圧差、温度差などで風のおこるわけについて、実験や観測、アニメーションによってわかりやすく説明し理解させる。

六年

○季節と太陽 (三月) 十五分

日の出、日の入りの方位や時刻から昼夜の長さ、南中する太陽の高さなどを観測して、地球にかたむきのある事を知り、四季の変化は、地球の公転と地軸のかたむきから起きることを理解させる。

中学校

◇理科 空気の圧力 十八分

コップの中の空気が、圧力を持つことを予想と仮説を立て問題形式で順次理解を深める。

大気の圧力が、水柱で十米ほどの高さになることを実験的に示し、動的に把握させる。

◇道徳 友情について 二十分

(六年でも視聴可能)
「朋友とは自己以外の自己をいう」等八つの先哲の名言を紹介し、それに関連するエピソードを配し、考えさせ、問題提起をする。一つの思想を表現する。

◇技術 切断のなぞをさぐる 二十七分

(生活科学シリーズ)
鋼鉄を例にとって切る方法を分類してみる。音で切る。電子ビームで切る方法など切り方を示し、技術を系統的に探る。

◇美術 風景をかく 二十分

ある中学の写生大会をストーリーとして次のことを取上げる。題材の選び方、画面構成、彩色等から美しさを求める工夫をする鑑賞、エピソードは作者の感動が伝わってくるものを求め描く楽しさを感じさせる。

◎新購入フィルム 右記四本外に

- 動物の走行 …… 一年
- こう母菌のはたらき …… 一年
- 原子と原子力 …… 二年